

伊豆沼に面した丘陵の斜面に生育するエドヒガン（江戸彼岸）  
エドヒガンは桜の仲間です。早咲きの種で、寿命が長いため、日本各地に巨木・古木が存在します。花が美しいため、エドヒガンからは多くの品種が作られました。ソメイヨシノ（染井吉野）もその一つです。

Vol.119

令和2年度5月号

## — 春作業開始しました —

春は多くの植物が休眠から目覚め、活動を始める季節です。伊豆沼の北岸に位置する水生植物園でも4月の中旬から下旬には多くの植物が芽吹き、花を咲かせます。植物の株分けと植え付けは、芽吹く前に行ったほうが良いようです。そのため、早く目覚める種類から順に、これらの作業を行っています。現在植物園では、サワオグルマやルリソウなどの花が咲き始めました。これから10月のサクラタデまで、次々に様々な花が咲いていきます。



サワオグルマのつぼみ。春の湿原を彩るキクの仲間、美しい花を咲かせます。



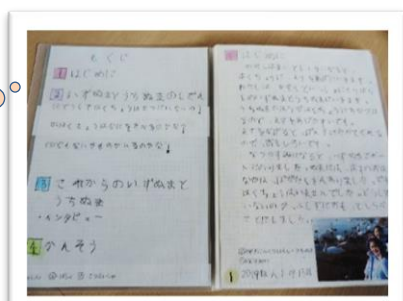
ヒルムシロの殖芽。ここから芽が出ます。

## — 全国「図書館を使った調べる学習コンクール」で優良賞 —

富谷市立富ヶ丘小学校1年の加室真衣さんが、「図書館を使った調べる学習コンクール」で優良賞に輝きました。ご両親と一緒にセンターを何度も訪れ、ハクチョウのことを一生懸命たくさん調べてそれをまとめたことが評価されました。これからもいろいろな生き物を調べて、もっと生き物を好きになってほしいと思います。



調べた内容です。





# 伊豆沼・内沼生き物図鑑 ～春の拡大版～



## ウグイス *Horornis diphone*

○春の訪れを告げる鳥

「ホーホケキョ」の鳴き声で親しまれているウグイス。その鳴き声は春の訪れを予感させることから、別名「春告鳥（はるつげどり）」ともいいます。

○「ホーホケキョ」と鳴くのはオスだけ

ウグイスは一夫多妻のつがい関係を持ちます。オスが「ホーホケキョ」と鳴くのは、自分のなわばりをアピールするためなのです。

## キジ *Phasianus versicolor*

○日本の国鳥

キジは日本の国鳥です。1947年に日本鳥学会によって選定されました。キジが選ばれたのは、1年中観察できる、優美である、桃太郎に登場し馴染み深いなどの理由があります。

○オスの喧嘩を目撃！

センター近くでオスのなわばり争いを目撃しました。春の伊豆沼では、冬とは違った鳥たちの様子が観察できます。



## シジュウカラ *Parus minor*

○ネクタイで性別を判別できる！

シジュウカラの性別は、喉からお腹にかけて通る黒いネクタイ模様の太さで判別することができます。ネクタイが太いのがオス、細いのがメスです。写真のシジュウカラはメスです。

○単語をつなげて文を作る

シジュウカラには優れた言語能力があることが明らかになってきました。集合や警戒を仲間呼びかけることができるようです。

撮影：麻山賢人

## ■臨時休館等のお知らせ

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、4月10日より当面の間、休館いたします。また、今年度のバス・バスターズを中止し、体験講座につきましても当面の間、開催を見合わせます。

皆様には、ご迷惑をお掛けすることになります。何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

## 新職員紹介



事務局長 山越 勝彦

多種多様な生物を育む伊豆沼・内沼の美しい自然環境の保護に努めてまいります。



業務補助 細川 幸

趣味はヘラブナ釣りです。伊豆沼・内沼の自然が保たれるように努めます。

